科目名 Subject	クリエイティブヘア Creative Hairstyling		教員名	ヘアチーム	
開講年次	2	開講時期	前期	単位	2
必修／選択	必修	授業形態	実習	時間	60
実践的教育	○				
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・コミュニケーション力
	◎	◎	◎	◎	○
科目の概要	ヘアスタイリストとしての応用サロンワーク（カッティング、特殊系ヘア、パーマ）の技術を学ぶ。 又、サロンワークの基礎（シャンプー）をより深く身に付ける。 ヘアリセッターカットなどのカッティング技術により、毛量が気になる方やボリュームが気になる方への対応技術とアプローチ力を身に付ける。授業を通じて美齢学の理解を深める。				
授業の目標	サロンワークの技術を学び応用することができるようになる。 流行に敏速に対応し、流行を創作する感性を習得し、リーダーとして美容界に貢献する人材になることができるようになる。 応用サロンワークを学び、老若男女問わず対応できる応用力を身につけ、美齢学に取り組む知識を得ることができる。				
時間外学習 （予習・復習）	技術・理論の修得の為、授業後に授業内容を図と文章でまとめて復習する。 自身でもプレゼンテーションができるよう理解度を高めておくこと。 （まとめ・復習にかかる想定時間：概ね１時間）				
教科書・教材	教科書	教員作成資料			
	教材	カット・パーマ・ブロー・シャンプー道具			
	使用設備・備品	美容実習室、シャンプー室使用			
	参考文献	なし			
評価方法	授業態度などの平常点・技術試験・提出課題での評価 「試験60%平常点30%課題10%」				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
学生へのフィードバックの方法	個別に実地指導を行います。				
履修上の注意	２コマ続きの授業の為、授業内容が2回ずつ重複しております。 美容技術を学ぶにあたり、遅刻、欠席はスキルアップに支障が出る為原則認めません。また、その為に再度デモンストレーション等の時間は設けません。授業中の私語、勝手な退室等の不適切と思われる行為を行った場合は、欠席と同等の扱いとします。				
本科目履修と関連する資格	資格名	なし			

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第１回	ブロー 髪の熱伝導理論、ブローの現状を学びウィッグでの実習を行う。	毛髪理論を取り入れ、毛髪に合わせたブロー技術を習得できる。	
第２回	ブロー 髪の熱伝導理論、ブローの現状を学びウィッグでの実習を行う。	毛髪理論を取り入れ、毛髪に合わせたブロー技術を習得できる。	
第３回	ブラントカット・エフェクトカット ブロッキング・手順・技術を展示し実習を行う。	他授業では行っていないカット技法や技術に対する髪の動き方の違いが習得できる。	
第４回	ブラントカット・エフェクトカット ブロッキング・手順・技術を展示し実習を行う。	他授業では行っていないカット技法や技術に対する髪の動き方の違いが習得できる。	
第５回	スライドカット ウィッグと補助的な役目をする新聞紙を用いてカットテクニックを実践	毛量調節の技術を習得し、スライドカットなどとのシルエットの違いを理解することができる。	
第６回	スライドカット ウィッグと補助的な役目をする新聞紙を用いてカットテクニックを実践	毛量調節の技術を習得し、スライドカットなどとのシルエットの違いを理解することができる。	
第７回	リセッター（毛髪交差） 毛髪理論をマイクロスコープを使い学ぶ。 毛髪について研究。	毛髪交差を学ぶことにより、毛髪の悩みを理解し、アドバイスができるようになる。	
第８回	リセッター（毛髪交差） 毛髪理論をマイクロスコープを使い学ぶ。 毛髪について研究。	毛髪交差を学ぶことにより、毛髪の悩みを理解し、アドバイスができるようになる。	
第９回	ドレッド シングルピン、ネジピンを用いてパーマをし、ドレッドヘアを実践。	美容技術の引き出しを増やすため特殊技術であるドレッド技術を習得できるようになる。	
第１０回	ドレッド シングルピン、ネジピンを用いてパーマをし、ドレッドヘアを実践。	美容技術の引き出しを増やすため特殊技術であるドレッド技術を習得できるようになる。	
第１１回	コーンロー 編み込みの理論を説明し、モデルでの展示・実践。	コーンローの方法を学び、デザイン性のあるスタイルをつくることができるようになる。	
第１２回	コーンロー 編み込みの理論を説明し、モデルでの展示・実践。	コーンローの方法を学び、デザイン性のあるスタイルをつくることができるようになる。	
第１３回	エクステンション① 三つ編み、四つ編みの技法を展示し、各自実習していく。	需要が増えている付け毛の技術を基礎だけでなく、実践的な技術まで習得できるようになる。	
第１４回	エクステンション① 三つ編み、四つ編みの技法を展示し、各自実習していく。	需要が増えている付け毛の技術を基礎だけでなく、実践的な技術まで習得できるようになる。	
第１５回	エクステンション② 器具を用いたエクステンションの付け方を展示・実習する。	エクステンションの色々な付け方を学び、幅広いヘアスタイルを作る技術を習得できるようになる。	

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第１６回	エクステンション② 器具を用いたエクステンションの付け方を展示・実習する。	エクステンションの色々な付け方を学び、幅広いヘアスタイルを作る技術を習得できるようになる。	
第１７回	縮毛矯正 インストラクターを招き、縮毛矯正の現状を把握し技術の流れを学ぶ。	縮毛矯正理論を学び、施術の流れや施術する上での注意点を理解することができる。	
第１８回	縮毛矯正 インストラクターを招き、縮毛矯正の現状を把握し技術の流れを学ぶ。	縮毛矯正理論を学び、施術の流れや施術する上での注意点を理解することができる。	
第１９回	パーマベーシック コールド、ホット、クリープなどのパーマ理論を学ぶ。	基礎理論を学び、それぞれのパーマの施術方法や仕上がりの違いを理解することができる。	
第２０回	パーマベーシック コールド、ホット、クリープなどのパーマ理論を学ぶ。	基礎理論を学び、それぞれのパーマの施術方法や仕上がりの違いを理解することができる。	
第２１回	マッサージ 技術のコツ、練習方法を展示し、相モデルで実習を行う。	速さや力加減などを研究しながら実践的なマッサージ技術が習得できる。	復習として、反復練習を2～3回程度をモデルにて練習 （想定時間：概ね一時間）
第２２回	マッサージ 技術のコツ、練習方法を展示し、相モデルで実習を行う。	速さや力加減などを研究しながら実践的なマッサージ技術が習得できる。	復習として、反復練習を2～3回程度をモデルにて練習 （想定時間：概ね一時間）
第２３回	バックシャンプー 技術のコツ、練習方法を展示し、相モデルで実習を行う。	展示を見て、相モデルで練習し、バックシャンプー技術の基礎が習得できる。	復習として、反復練習を2～3回程度をモデルにて練習 （想定時間：概ね一時間）
第２４回	バックシャンプー 技術のコツ、練習方法を展示し、相モデルで実習を行う。	展示を見て、相モデルで練習し、バックシャンプー技術の基礎が習得できる。	復習として、反復練習を2～3回程度をモデルにて練習 （想定時間：概ね一時間）
第２５回	バックシャンプー 相モデルで実習を行う。	速さや力加減などを研究しながら実践的なバックシャンプー技術が習得できる。	復習として、反復練習を2～3回程度をモデルにて練習 （想定時間：概ね一時間）
第２６回	バックシャンプー 相モデルで実習を行う。	速さや力加減などを研究しながら実践的なバックシャンプー技術が習得できる。	復習として、反復練習を2～3回程度をモデルにて練習 （想定時間：概ね一時間）
第２７回	サイドシャンプー 技術のコツ、練習方法を展示し、相モデルで実習を行う。	展示を見て、相モデルで練習し、サイドシャンプー技術の基礎が習得できる。	復習として、反復練習を2～3回程度をモデルにて練習 （想定時間：概ね一時間）
第２８回	サイドシャンプー 技術のコツ、練習方法を展示し、相モデルで実習を行う。	展示を見て、相モデルで練習し、サイドシャンプー技術の基礎が習得できる。	復習として、反復練習を2～3回程度をモデルにて練習 （想定時間：概ね一時間）
第２９回	サイドシャンプー 相モデルで実習を行う。	速さや力加減などを研究しながら実践的なサイドシャンプー技術が習得できる。	復習として、反復練習を2～3回程度をモデルにて練習 （想定時間：概ね一時間）
第３０回	サイドシャンプー 相モデルで実習を行う。	速さや力加減などを研究しながら実践的なサイドシャンプー技術が習得できる。	復習として、反復練習を2～3回程度をモデルにて練習 （想定時間：概ね一時間）